

2016（平成28）年度 事業実績報告書

2016（平成28）年4月1日から2017（平成29）年3月31日まで

特定非営利活動法人 おきなわCAPセンター

1 事業の成果

2016年度は、おきなわCAPセンター20周年目の節目の年であった。自主事業として大々的なイベントは行わなかったものの、提供事業、学習啓発事業、ネットワーク事業を通じて子ども支援に携わる団体や関係機関との連携をさらに深めることができた年となった。提供事業としては、思春期向けプログラムを那覇市、宜野湾市、北中城村では継続して実施することができている他、宜野湾市においてはSNPプログラムを特別支援学級で実施することもできた。また、沖縄県からの委託事業である子どもの虐待防止のための講演会・研修会も5年目となり、県内で虐待防止に向けた意識、啓発が浸透している。さらには、性犯罪被害者支援のワンストップ相談支援員養成講座の再委託も受け、さらなる発展の1年となった。

(1) 子どもへのCAPワークショップ（暴力防止プログラム）等提供事業

126回のワークショップ提供

2016年度は、子どもワークショップ75回、おとなワークショップ51回、合計126回提供することができた。学校からの申し込みが年々減少する中、市町村との協働で行う事業は着実に継続できている。那覇市（思春期の心と体のための意識啓発事業・那覇市立中学校17校）は6年目の実施となるが、CAPの考えをベースにつくられた「思春期プログラム」を那覇市内、全中学1年生に届けることができた。8年目となる浦添市（児童虐待防止対策事業・学童および児童館にて子どもWS計3回）、5年目の北中城村（児童虐待防止緊急対応強化事業・北中城小学校および島袋小学校、北中城中学校子どもWS計13回）、3年目の宜野湾市（デートDV予防啓発出前講座・宜野湾市立中学校4校、障がい児暴力防止プログラム宜野湾市立小学校8校子どもWS計14回）からの委託も順調に継続されている。その他、「安全講話」については、学校単独の依頼を受け実施することができ、依頼先からはよい反応があがっている。

デートDVの予防・啓発の取り組み

デートDV防止の取り組みとして、那覇市立全17中学校および宜野湾市立全4中学校にて「思春期の心と体プログラム」を実施。思春期の子どもが自分の心と体を大切にするという視点とデートDVについての情報と相談機関を伝えた。そのほかにも、うるま市、北中城村、児童養護施設、私立高等学校などでも同一のプログラムを実施し、中学校だけで24校、約4500人の中学生にCAPの考えをベースにつくられた思春期プログラムを届けることができた。

主催ワークショップ

2016年度は主催ワークショップとして、宜野湾市内の小学校教員を対象とした、SNPに関する内容で実施し、その後特別支援学級でのワークショップ実施につなげることができた。

児童養護施設へのワークショップ

沖縄県青少年・子ども家庭課の委託を受け「児童養護施設職員等資質向上支援事業」による職員向けの研修を実施。5年目となる今年度は、これまでに実施したワークショップやまた、前年度末に行った振り返り会を受けて「子どももおとなも安心・自信・自由」プログラムを開発し、体罰に頼らない支援の在り方について事業を提供した。全職員が同じ研修を受講し、共有できるよう時間帯や開催日をずらして、1施設あたり2回に分けて実施した。また、施設職員の他、地域の里親やグループホーム、子どもシェルター従事者も参加し、相互理解に向けた交流および情報提供を行った。

(2) ワークショップ提供のための人材育成事業

県内外への研修派遣

県内で行われた各種研修会、講演会へメンバーを派遣。それぞれがスキルアップに努め、ワークショップを実施する際の内容に取り入れることもできた。

定例会または練習会

定例会、練習会はメンバーの資質向上だけでなく、2014年度に誕生した新規メンバーをワークショップに派遣する前の練習会等として活用。練習会については、ワークショップ開催前などその都度、必要に応じて実施し、新規メンバーの活躍の場の提供につなげた。またおとなワークショップの内容やプログラム検討会議を随時開いた。親睦を深めチームワークを強化できる機会ともなった。

さらに、思春期プログラムの開催が継続される中で、新たな人材の育成として、現ファシリテーターを講師とし、グループ内養成講座を基礎と実践編で実施することができた。

(3) 子どもへの暴力防止についての学習・啓発事業

子ども虐待防止推進事業

沖縄県からの委託事業による5年目となる本事業では、広く県民に子ども虐待問題について周知することに努め、8か所で講演会や講座を企画、運営を行った。内容だけではなく、運営についても周囲から高い評価を得ることができた。講師は、エンパワメントセンター主宰の森田ゆりさん、西南学院大学教授の安部計彦さん、NPO法人レジリエンス代表の中島幸子さん、子どもの虹情報研修センター

長の川崎二三彦さん、神奈川県茅ヶ崎市職員の伊藤徳馬さんを招聘し開催した。また、今年度は、本事業内にCAPおとなワークショップも含め、久米島町および宮古島市で開催した。

(4) 地域ネットワーク事業

行政、民間団体とのネットワーク強化

地域ネットワーク事業は例年通り、副代表および事務局が「子ども子育て会議」、「那覇市要保護児童対策協議会代表者会議及び実務者会議」、「那覇市子ども政策審議会」「那覇市子ども政策審議会指定管理者選定部会」など各種会議に出席し、子どもを支援する関係機関との連携を図った。また、以前参加していた「九州・沖縄子どもネットワーク会議」にも参加し、会議当日にはパネルセッションにも登壇し、おきなわCAPセンターの広報活動も行った。

インターンシップ、フィールドワーク等の受け入れ

那覇看護専門学校からインターンを受け入れ、学生たちにCAPの活動内容や子どもへの虐待について説明をする他、つうしんや虐待防止講演会の広報発送作業、おとなワークショップ等に参加してもらい、子ども虐待防止活動と子どもの人権について伝えた。他にも、ぐしかわ看護専門学校の学生をフィールドワークで受け入れた。将来、医療現場に携わる学生たちへエンパワメントの考え方、支援の在り方、CAPの理念と活動を伝えることができた。

児童養護施設職員等資質向上支援事業

CAPワークショップ提供（詳細は提供事業に記載）の他、児童養護施設職員を対象とし、外部講師を起用して支援ケースについて検討する、SV（スーパーヴァイズ）研修事業を実施した。講師には前年度も起用した竹沢昌子さん、本村真さん、島袋裕美さんに加え、新規講師として元県職員の砂川純子さんを起用し実施した。臨床経験を元に支援方法を提示することは、参加者にも非常にわかりやすく、好評であった。また、今年度は施設側のニーズに応え性教育に関する情報提供を行うため、リアライズYOKOHAMAの橋本明子さんを迎え、施設職員だけではなく子どもたち向けにも性教育の講話を開催。さらには、思春期・青年期の理解と支援を目的とし、宇部フロンティア大学臨床教授の小栗正幸さんをお招きした研修会も開催し、より専門性を高める情報提供を行うことができた。

性暴力被害者ワンストップ支援センター相談支援員養成研修

2014年度に委託を受けた同研修会は、2015年度は休止していたが、2016年度の再開とともに当センターへの再委託となった。2015年2月より沖縄県性暴力被害者ワンストップ支援センターがスタートし、本研修会では24時間365日の運営に向け相談支援

員を増員することを目的として実施した。講師には、沖縄県や県警、看護協会その他、強姦救援センターREICOの代表高里鈴代さん、県立中部病院産婦人科医の三浦耕子さん、弁護士の角田由紀子さん、ウィメンズカウンセリング京都の井上摩耶子さん、検事の田中嘉寿子さんのほか、性暴力救援センター大阪SACHICOより、代表の加藤治子さん、運営委員の原田薫さん、弁護士の雪田樹理さん、精神科医の久保田康愛さんを招聘して行った。

ご入学おめでとう大会への講師派遣等

沖縄タイムス社主催の「ご入学おめでとう大会」（浦添市、うるま市、名護市全3回）へメンバーを派遣して新1年生とその保護者へ「自分を大切にする」というテーマで講話した。新しい環境に入る前の不安な気持ちを和らげるとともに、子どもの気持ちを受けとめ、話を聴くことの大切さを伝えた。

（5）会報等の発行事業

活動の報告を兼ねたつうしんを2回（7月と3月）発行し、会員と関係機関へ届けた。また、インターネットを活用して、ホームページとフェイスブック、事務局長ブログを随時更新し、講座や講演会、ワークショップの案内や報告を行うなどの情報発信に努めた。

（6）その他、目的を達成するために必要な事業

なし

特定非営利活動に係る事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施場所	従事者数(人)	受益対象者(人)	支出額(千円)
子どもへのCAPワークショップ(暴力防止プログラム)提供事業	小学生ワークショップ	15回 島袋小2年(2クラス)、北中城小3年生(4クラス)、島袋小5年生(2クラス)、北中城小6年生(4クラス)、アミークス2年生(3クラス)	33	346	3,631
	就学前ワークショップ	2回 相愛幼稚園、OIST(沖縄科学技術大学院大学)	5	37	
	中学生ワークショップ	—	0	0	
	スペシャルニーズプログラム	16回 沖縄高等特別支援学校(2クラス)、大謝名小学校、嘉数小学校、普天間小学校(2クラス)、宜野湾小学校(2クラス)、長田小学校(2クラス)、大山小学校、はごろも小学校、普天間第二小学校	30	165	
	その他	12回 美さと児童園(就学前、小学生)、愛隣園(就学前、小学生)、母子生活支援センターさくら(小学生)、中城CEC学童、浦和寮(就学前、小学生)、若草児童センター、港川学童	40	146	
	思春期プログラム	28回 那覇市中学校17校(仲井真、城北、真和志、首里、神原、小禄、那覇、寄宮、上山、松城、古蔵、金城、松島、安岡、石田、石嶺、鏡原)、宜野湾市中学校4校(普天間、嘉数、宜野湾、真志喜)、北中城中学校、うるま市高江洲中学校、具志川東中学校、IDA高等課程(未来高校2クラス)、美さと児童園中高生、愛隣園中高生	72	4635	
	安全講話	2回 夢の子保育園、与儀小学校	4	87	
おとなへのCAPワークショップ提供事業	おとなワークショップ(保育所、幼稚園、学校)	23回 相愛幼稚園、沖縄高等特別支援学校、小湾自治会、OIST、大謝名小学校、嘉数小学校、母子生活支援センターさくら、長田小学校、アミークスインターナショナル、島袋小学校、普天間小学校、浦和寮、中城CEC学童クラブ、宜野湾小学校、若草児童センター、普天間第二小学校、大山小学校、はごろも小学校、北中城こそだて支援センター、港川学童、なは女性センター、	52	366	
	教職員ワークショップ	4回 北中城小学校、島袋小学校、沖縄市、教職員、すてら保育園	12	90	
	その他連携機関、	23回 県内8児童養護施設15回、里親会2回、夢の子保育園、なは女性センター沖縄国	52	382	

	大学、児童養護施設等	際大学、沖縄県立北部病院、沖縄市相談事業所、久米島町、宮古島市			
	主催ワークショップ	1回 宜野湾市教職員	4	13	
	本の販売	適宜 県内			90
人材育成事業	研修派遣	適宜			21
	研修派遣	県外 1回 CCJ主催研修 (5月)		1	
	内部研修	2回 思春期プログラム養成講座 (2月, 3月)		25	
	定例会	4回		40	
子どもへの暴力防止についての学習啓発事業	公開講座	0回			4,658
	沖縄県子ども虐待防止推進事業	8回 ・森田ゆり ・中島幸子 ・安部計彦 ・川崎二三彦 (2回) ・伊藤徳馬 ・CAPワークショップ (久米島町、宮古島市)	28	700	
地域ネットワーク事業	地域ネットワーク会議	11回 ・要保護児童対策協議会代表者会議 及び実務者会議 ・那覇市子ども政策審議会 ・那覇市子ども政策審議会指定管理者 選定部会 ・沖縄県子ども子育て会議 ・九州・沖縄子どもネットワーク会議	40		4,918
	インターン受け入れ	12回 ・那覇看護専門学校 (11回) ・ぐしかわ看護専門学校フィールドワーク		55	
	児童養護施設職員等資質向上支援事業	・県内8施設に講師を派遣し、スーパー ヴァイズ研修のコーディネート ・性の健康教育 (橋本明子) ・思春期青年期理解 (小栗正幸)	20	250	
	性暴力被害者ワンストップ支援センター相談支援員養成講座	10回 ・高里鈴代 ・三浦耕子 ・加藤治子 ・原田薫 (4回) ・角田由紀子 ・雪田樹里 ・久保田康愛 ・井上摩耶子 ・田中嘉寿子	10	486	
	その他	5~12月 We ぷらんにんぐデートDV 防止講座協力 (浦添市内中学校) 1~2月 タイムス入学おめでとう大会 (名護市、那覇市、うるま市)			

会報等の 発行事業	会報の発行	年2回	2	600	55
	ホームページ	随時 事務所			
	その他メディア	『けーし風』連載(2回)			
その他、目的を達成するために必要な事業	なし				

※上記事業のほか、総会 1 回、理事会 2 回 事務局会議 30 回、リーダー会議 5 回。
労務・税務など。